

はなわ 議会だより

2022
No.160

発行/福島県埴町議会
令和4年10月21日



地域の重要な足 —水郡線—
関連記事はP8・P17

9 月定例会

7月臨時会	P 2 ~ 4
令和3年度決算審議	P 8 ~ 10
9月定例会	P 11 ~ 13
町政を問う(一般質問)	P 14 ~ 19
追跡レポート & 委員会	P 20 ~ 21



埴町議会ホームページ
QR



埴町議会フェイスブック
QR



埴町議会ツイッター
QR

総額18億6200万円 (令和7年度までの継続費設定)

役場庁舎改築事業予算を可決(賛成 8・反対 4)



7月 臨時会 の あ ら ま し

令和4年7月22日に第4回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会。議案3件と報告1件が上程され、原案どおり可決となりました。

議案・報告の主な内容

- ◆令和4年度埴町一般会計補正予算(第2号)
 - 新庁舎建設第1期工事請負費7億3179万円などで計7億4939万円。
 - ◆埴町過疎地域持続的発展計画の変更
 - 今後、過疎対策事業債を利用し各種事業を実施するにあたり、計画を変更する必要が生じたため。令和2年の国勢調査の各種確定値が示されたことに伴う記載内容の修正など。
 - ◆工事請負契約の締結
 - 台宿地区農業集落排水処理施設の修繕工事を、条件付一般競争入札により契約するもので、契約額は9515万円。施設の長寿命化計画に基づき、土木附帯工事・機械設備工事・電気設備工事を実施し設備の更新を行う。
 - ◆法人の経営状況
 - 株式会社埴町振興公社の令和3年度経営状況を議会へ報告するもの。

質疑(計画)

- Q 国勢調査の確定値について、他の計画書も変更が生じると思われるが見直しの考えはあるのか。
- A 国勢調査の数値を使用している計画は、修正・変更する。
- Q 過疎債の利率・交付税率等は。また、年次計画はあるのか。
- A 公的資金・民間資金どちらを使うかによって違い、見積りを取って決まる。充当率は過疎対象事業分の100%で、交付税率はその70%である。返済計画はつくってある。
- Q 計画にある「役場庁舎太陽光発電導入事業」だが、必ず再生可能エネルギーの利活用促進事項を入れなければならないものなのか。
- A 過疎債は交付税率が有利である。計画に載せないと対象にならないため、より有利な起債を活用していきたい考えである。

質疑(工事請負契約)

- Q 農業集落排水事業にこれだけの資金を投入するのはいかがなものか。一部の人のみ恩恵を受けているのではないか。
- A 公共下水道や上水道などその目的によって、全体のバランスを取りながら予算を配分しインフラ整備を進めている。
- Q 工事期間と工事中の汚水処理は。
- A 工期は令和5年3月31日を予定。槽が2槽あるので、1槽ずつ改修するので支障のないように進めていく。

質疑(法人の経営状況)

- Q 町からの助言・指導はどういったものだったか。損益計算書について、指定管理料の扱い、消費税はどのようになっているのか。
- A 毎月1回、担当課と振興公社の部課長クラスで調整会議を開き、毎月の売上や光熱費の推移、施設の管理などをチェックしている。会計処理を見直し、客単価を精査している。インタネットでの予約は23.3%(5月末現在)である。現在、入浴・宿泊者は増えてきており、今年度は順調な状況である。損益計算書だが、施設管理等売上高の中に指定管理料が含まれており、税抜き表示である。指定管理料収入は一般的な企業の会計処理の場
- Q 経営面での指導・助言は。町側の指定管理料は非課税か不課税か。
- A 原価率の指導を毎月行っている。指定管理料は委託料や補助金でもなく非課税という扱いだが、振興公社ではその科目は収益とみなされ、消費税を抜かれた分になる。
- Q 給料手当だが、雑給というのは残業になるのか。
- A 39名の給料手当になる。前期末から4名人員削減している。雑給は、正社員以外の職員への給料である。

質疑(補正予算)

- Q 条件付一般競争入札の内容は。
- A 本社・支社・営業所が福島県にあること。町の工事入札資格名簿に登録されていること。経営事項審査の評定が一定数以上であること。過去3年以内に同様・同規模の工事の実績があること。それらを条件とし入札の公募を行ったところ、2業者より参加希望があったが1業者が辞退し、実際に入札に参加したのは1業者。落札価格は9515万円(消費税込み)。落札率は97.89%。
- Q 今後の予定について話をしており、答弁どおりのスケジュールで提出をさせていた。なるべく早く着工したい考えである。
- Q 基本計画の変更や見直しを先にやるべきではないのか。
- A 基本計画に沿った金額を目指したということである。
- Q 太陽光発電の新庁舎への設置は見送ってもよいのでは。
- A 公共施設には設置すべきと考えている。業務継続性をみるとき、災害で電気が止ま
- Q 追加工事がなく、全ての工事がこの金額でできると約束できるか。
- A 確認された数字とは捉えていない。入札の結果によるため注視していく。
- Q 借金を返済するため、将来町民に負担が出てくるのではと声があるが。
- A 町全体の負担が少ない方法で建築していく。
- Q 設計の見直しをして、7月14日の全員協議会の前に決定した額である。
- A 全員協議会で説明を受けたということであり、決定したわけではない。内容の検討・議論ができていない中、説明後わずか1週間後に議決を求めるのはいかがなものか。
- A 6月定例会の一般質問の答弁において、



質問に対して答弁する宮田町長

リモート傍聴インタビュー

令和4年9月定例会で、リモート傍聴をされた方へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



かみなが むつこ
神永 睦子さん(柳町)

議論するだけでなく、ぜひ実行されるように働きかけてほしい

— 議会に対する意見や要望 —
九月議会の一般質問は、農業・ペット・公園・子ども

— 傍聴した感想は —
初めて埴町の在り様を見て真剣さを感じました。また、直接、議会議場の傍聴席に着かなくても見られることは、仕事をしていても時間の空いているときにみることでありますし、足が不自由になっても傍聴ができる素晴らしい企画だと思います。直接傍聴もしたくなりました。

— 傍聴のきっかけは —
ある人に誘われてリモートで傍聴しました。今、リモート会議等は盛んに行われていますが、議会もリモート傍聴できると知って驚きました。動画の画像が大きいためと臨場感が出るのではないのでしょうか。

— 町に対する意見や要望 —
町に對してやってもらうことを期待するだけでなく、

— 町に対する意見や要望 —
地域の人たちが集まって、公園や久慈川河川敷の花苗植栽や草刈り等の地域整備活動をボランティアでやっています。柳町公園の利用者は増えていきますし、春になると菜の花がとでもきれいです。

— 町に対する意見や要望 —
も第三の居場所・緑化活動・公共交通・風力発電・水郡線・新庁舎・生活支援・施設利用・DX・介護施設と多岐に渡る様子を見て、さまざまな方面から議論されていると感じました。議論するだけでなく、ぜひ実行されるように働きかけてほしいと思います。

自分たちでできることはやってみようと思えると思えるので、素晴らしい取り組みです。町はそういう活動が推進できるようにバックアップしていただきたいです。また、埴町に限ったことではないのですが、自閉症スペクトラムの子どもの多くなっています。子ども本人のせいではないし、親のしつけや育て方の問題ではないと言われているように、適切に対応すれば、見違えるように良くなる子どもがいます。実際、私は子どもが良くなった経験をしています。そういう特性を持った子に対して取り組みが来ていると思います。さらに整えてほしいと思います。老人や子ども等、社会的弱者と言われる人たちが幸せに生き生きと生活できる埴町を目指し、頑張りたいと思います。

自分たちでできることはやってみようと思えると思えるので、素晴らしい取り組みです。町はそういう活動が推進できるようにバックアップしていただきたいです。また、埴町に限ったことではないのですが、自閉症スペクトラムの子どもの多くなっています。子ども本人のせいではないし、親のしつけや育て方の問題ではないと言われているように、適切に対応すれば、見違えるように良くなる子どもがいます。実際、私は子どもが良くなった経験をしています。そういう特性を持った子に対して取り組みが来ていると思います。さらに整えてほしいと思います。老人や子ども等、社会的弱者と言われる人たちが幸せに生き生きと生活できる埴町を目指し、頑張りたいと思います。

自分たちでできることはやってみようと思えると思えるので、素晴らしい取り組みです。町はそういう活動が推進できるようにバックアップしていただきたいです。また、埴町に限ったことではないのですが、自閉症スペクトラムの子どもの多くなっています。子ども本人のせいではないし、親のしつけや育て方の問題ではないと言われているように、適切に対応すれば、見違えるように良くなる子どもがいます。実際、私は子どもが良くなった経験をしています。そういう特性を持った子に対して取り組みが来ていると思います。さらに整えてほしいと思います。老人や子ども等、社会的弱者と言われる人たちが幸せに生き生きと生活できる埴町を目指し、頑張りたいと思います。

採決結果

議案第33号 令和4年度埴町一般会計補正予算(第2号)	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成8、反対4)	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	●	—

○：賛成 ●：反対 ※なお議長(割貝寿一)は採決に加わらない

討論



賛成
七宮広樹議員
東日本大震災以降も、庁舎の耐震化が行われておらず、危険な建物の中で業務が行っている現状を見て、聞いて、感じ、考えたとき、「庁舎内にいる人の命を守ることに主眼を置き」築50年を経過した庁舎に新基準の耐震化工事を進めるよりも、新たに建て替える時期にきていると考える。



反対
吉田克則議員
賛否を問うのは時期尚早
これを認めれば建設費が結果的にいくらになるか分からない。全員協議会で説明し、1週間後のこの臨時会で賛否を問うのは時期尚早であり、十分な検討議論を重ねるべき。金額ありきで議決を求めるのは疑問。庁舎建設は町民は求めておらず、町は十分な説明をしていない。建設ありきではなく、入念な検討・計画が必要である。



賛成
金澤太郎議員
将来の財政負担は当初と変わらない
町民に開かれながら、困ったときには相談しやすい庁舎であるべきであることから、新庁舎建設には賛成している。直近の経済状況の悪化や資材高騰の中、当初予算額から3億1千万円ほどの増額で抑えられたことは評価できる。また、令和3年度に3億3000万円の減債基金積立が予定されたことで、将来の財政負担は当初想定と変わらないことから賛成する。



反対
菊地哲也議員
町民の理解は得られない予算
悪化する日本経済の中でこの補正予算は町民の理解は得られない。縮小した予算は評価するが、当初よりは増額となり入札の不調や事業費のさらなる増額も否定できない。今後50年のもつ、町民に愛される庁舎をつくるという当初の思いはぼやけてきている。今後、基金の積み増しや建設場所の選定を含め、緊急防災・減災事業債の活用を検討すべき。

議案等の審議結果一覧表

原案可決	議案第31号	埴町過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和7年度)の変更	国勢調査の各種確定値に伴う記載内容の変更と、令和4年度以降に実施する予定の事業を対象事業とするため、事業名等の変更・追加。
	議案第32号	工事請負契約の締結	台宿地区農業集落排水処理施設の修繕工事を条件付一般競争入札により契約するもので、契約金は9515万円。契約の相手方は、株式会社トーカン(郡山市)代表取締役 松尾 茂
	議案第33号	令和4年度埴町一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ7億4939万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ73億9892万円とするもの。
報告	報告第3号	法人の経営状況	株式会社埴町振興公社の令和3年度経営状況を議会へ報告するもの。

魅力と活力にあふれる町づくりのため実行された決算

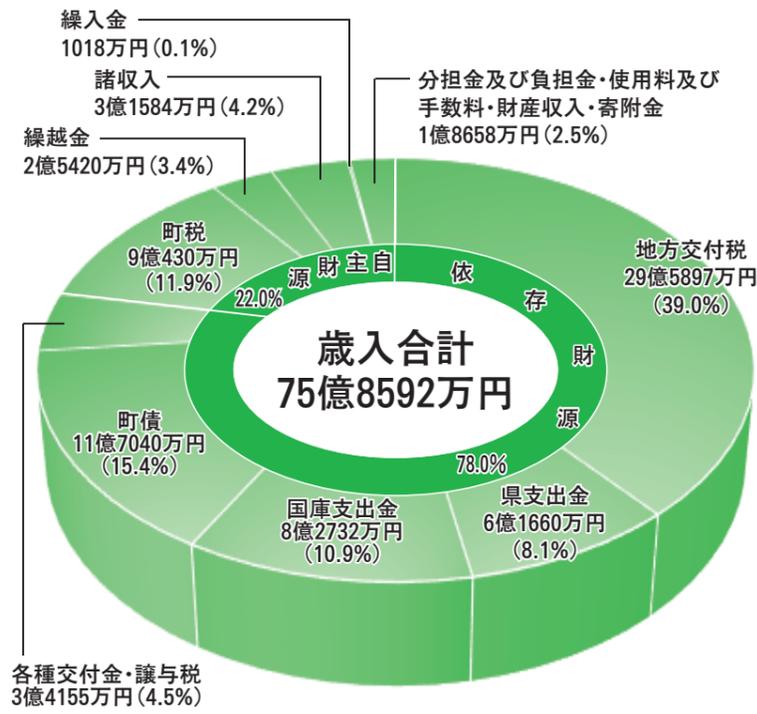
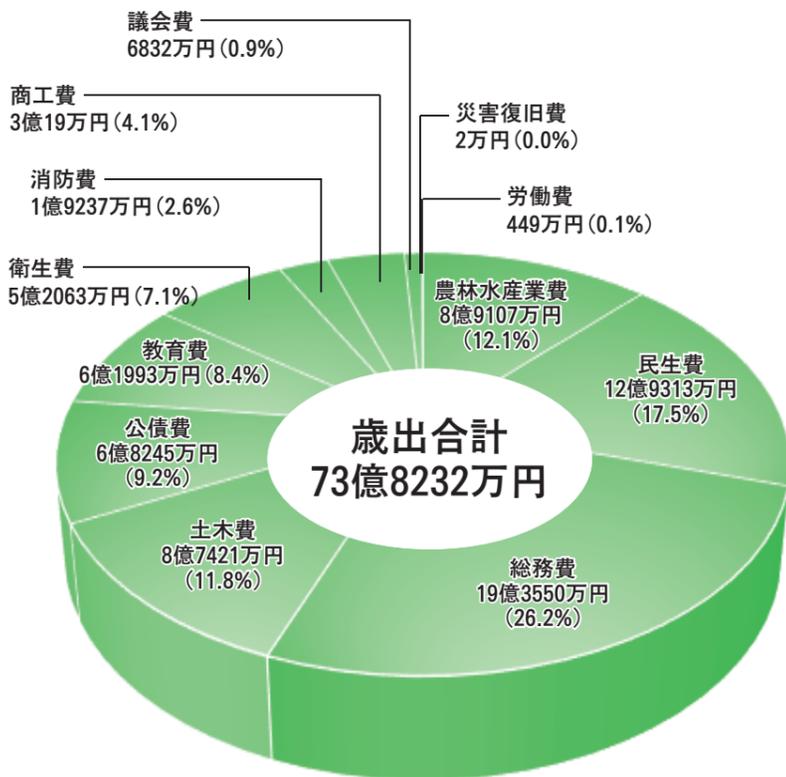
認定

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や灯油購入費等助成事業、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金、子育て世帯への特別臨時給付金、IP告知システム機器更新事業など、生活支援および課題解決のため実行された令和3年度決算。歳出決算額は、一般会計で73億8232万円となりました。

9月定例会の2日目(9月9日)に審議付託を受けた予算決算常任委員会(吉田克則委員長)で9月13日および14日に集中審議を行い、全会一致で一般会計および特別会計等を全て認定すべきものとなりました。

委員会付託とは
本会議での審議を効率的に行うため、議決に先立ち委員会へ議案等の専門的な審査や調査を委ねること。

<特別会計決算>	歳入	歳出	差額	歳出の前年度比
国民健康保険	9億7666万円	9億4616万円	3050万円	2.2%
後期高齢者医療	1億1177万円	1億1160万円	17万円	1.5%
介護保険	11億6727万円	11億2445万円	4282万円	7.3%
農業集落排水処理事業	1億6838万円	1億6821万円	17万円	28.9%
公共下水道事業	2億3538万円	2億3511万円	27万円	13.2%
上水道事業(収益的収支)	2億6675万円	2億4059万円	2616万円	▲3.5%
上水道事業(資本的収支)	442万円	9320万円	▲8878万円	12.7%



歳出前年比 7.3%減
【主な内容】
湯遊ランドはなわ改修工事の減、商業等応援給付金の減など

歳入前年比 7.7%減
【主な内容】
特別定額給付金事業費・事務費補助金の減、地方交付税の増額(臨時経済対策費および臨時財政対策債償還基金の創設)による基金繰入金の減など

監査委員の意見



健全財政維持のため、有利な町債の活用と国庫補助金等獲得への積極的取り組みを

1. 決算概況
令和3年度の歳入歳出当初予算は、前年度をやや上回る規模。IP告知システム通信機器等更新事業、高齢者外出支援タクシー料金助成事業、排水路整備事業、消防施設整備事業等が特徴である。
一般会計・特別会計を合わせた決算額は、前年度比で歳入歳出とも約4億円減少。実質収支比率(特別会計を除く)は3.4%と前年度比0.2%下降するも一応は適正な水準にある。
滞納管理に関しては、ここ数年間において収入未済額が減少し改善著しい。また、不納欠損額については、関係法令による正しい処理が定着しつつある。
町債の状況は、一般会計・特別会計合わせた年度末残高は82億48百万円だが、この内75.8%が交付税措置対象となっており、町の実質負担額は町債の24%程度である。

2. 特別会計の状況
純計決算においては5特別会計すべて赤字だが、一般会計から総額5億38百万円の繰り入れにより全会計で黒字。農業集落排水、公共下水道は、両会計とも接続率の向上と滞納使用料取り組みが課題。歳入のほぼ50%を一般会計繰入金に依存する収支構造は、町財政にとって大きな足かせとなることを懸念する。

3. 総括
健全財政を維持するため、歳入は有利な町債の活用と国庫補助金等獲得への積極的取り組みが求められる。歳出面では、コスト削減努力は当然のこと、多様な全ての行政需要に応えることは難しいので、資金配分にメリハリをつけることが肝要と思われる。
上水道事業の現状は、依然として「高コスト・低料金」に起因する明らかな不採算構造にある。持続可能な水道事業のため、利用者である住民に負担を強いることにはなるが、料金体系の全面的な見直しは避けられない状況にある。
町長のもと、職員一人一人が既存の考え方にとらわれることなく、新しい発想と改革意識を持って職責を果たすよう期待する。
(決算審査意見書より内容一部抜粋)

令和3年度 決算質疑

9月13日・14日に開催された予算決算常任委員会での質疑をピックアップ！

一般会計

まぢづくり・くらし

臨時財政対策債の考えは
毎年度の財政状況を考慮している

Q 臨時財政対策債について、町はどのように考えているか。

A 臨時財政対策債とは国の地方交付税の財源が不足し、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、該当する地方自治体自らに地方債を発行させる制度。元利償還額相当額については、全額を後年度地方交付税基準財政需要額に算入することとされている。

A 今後、国からの交付税が減額されることも想定されるので、毎年度の財政状況を考慮しながら、最小限にしたり、あるいは借り入れを行わないことも選択肢に含めて財政運営を進めている。

ふるさとづくり寄附金の実質的な収入は
329万6千円

Q ふるさとづくり寄附金について、経費を差し引いた実質的な収入はどのくらいか。返礼品の品数が多すぎるので、減らして分かりやすくすべきではないか。

A 329万6千円と なっている。事業開始当初、多くの方からの募集を呼び掛けた経緯がある。今後、見直しを検討していく。

水郡線活性化対策協議会に大子町の加入を
協議会の中で話をしていく

Q 水郡線活性化対策協議会の構成団体として、大子町の加入について要望をすべきではないか。

A 福島県の水郡線沿線の市町村で構成している。水戸までの茨城県の水戸村との連携という面では、両県の連携事業として利用促進会議と連携し実施している。協議会の中で話をしていく。

Q 県の関わりも必要ではないか。

A 県の鉄道対策活性化協議会に対して、毎年、水郡線活性化対策協議会で要望活動をしている。水郡線の存続に向けて、協議会で活動をしていく。

マイナンバーカード発行の経費は
全て国の負担

Q マイナンバーカード発行に係る経費は。

A 費用は全て国の負担であり、事務費を国に申請している。

手続きが不安な方は、役場窓口で申請のサポートをしている。



「はなマ」事業の目標数値等は
今後、検証に向けて定めていきたい

Q 「農・商」販売力低下対策事業補助金2200万円について、目標数値等と内容および実績は。

A 埴町ふるさと産業おこし連絡協議会へ補助金を交付し、「はなマ」事業を実施している。令和3年度の実績は、ぬか床定期便の月2回発送等を実施しており、368件の発送があった。また、埼玉女子短大に協力いただき

き、インスタグラムでのPR活動。そのほか、雑誌やテレビ等でのPRも行い、多くの反響があったが、具体的な目標数値等は設定していなかった。

Q 今後は目標値を定め、事業結果と成果を区別して実施すべきではないか。

A 効果の検証に向けて、目標値を定めていきたい。

湯遊ランドはなわの森林作業道とは
森林浴や散策路として利用していただきたい

Q 森林作業道整備(湯遊ランドはなわ)70万円の内容は。

A キャンプ場南側と西側の山林へ、2.5メートル幅で150メートル作業道を設置した。森林整備を視野に入れ、湯遊ランドのお客様やキャン

プ場利用者が森林浴や散策路としてレクリエーションの場としても利用していただければと考えている。今後、小学生を対象とした森林学習の場としても利用したいと考えている。

福祉・医療・子育て

健診の受診率は
ほぼ横ばいで推移

Q 健康診断の受診率は向上しているのか。

A 各種健診ごとに受診勧奨しているが、ほぼ横ばいで推移している。

しかし、町健診を受診しない方でも、医療機関で定期的な自己受診されている方は多くいる。

子宮頸がんワクチン接種の勧奨はしたのか
令和4年4月から事業を進めている

Q 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨はしたのか。

A 国で令和3年11月から積極的勧奨となっ

た。町としては、令和4年4月からの事業を進めているため、令和3年度の実績はなかった。

乳幼児子育て用品支援事業の内容は
月額2500円を限度に助成

Q 乳幼児子育て用品支援事業193万6千円の内容は。

A 2歳未満の乳幼児の保護者に対して、町の指定する販売店から購入する紙おむつ関連

用品および授乳関連用品で月額2500円を限度として助成する事業。令和3年度は、114人の保護者へ193万6千円を助成した。

令和3年度の事業実績【1】

「農・商」販売力低下対策事業補助金
(「はなマ」のぬか床定期便)
2200万円



埴町工一商品券
(1人15000円)
1億2499万円



IP告知システム機器等
更改業務委託(矢祭町分含む)
6億7920万円



令和3年度の事業実績【2】

株式会社埴町振興公社
経営安定化資金貸付金
3000万円



橋梁上部工(製作・架設)工事
(町道川上東河内線)
8656万円



ふくしま森林再生事業
(施業10力所、129.76畝)
2億3078万円



秦教育長任命に同意



同意を受け、あいさつする秦教育長

一般会計1億9777万円を増額補正

9月の例会の定例あらまし

9月定例会は9月8日(木)から14日(水)までの会期で開催しました。条例3件、補正予算5件、前年度の一般会計および特別会計等の決算認定7件、財政関連報告2件が上程されました。また、最終日には工事請負契約の締結1件、人事案件2件、議員発議1件が追加議案として提出され、いずれも原案どおり可決・認定・同意となりました。

一般会計補正予算

【主な内容】

- ・申請管理システム導入業務委託料 361万円
- ・国のDX(デジタルトランスフォーメーション)に伴い、役場に来庁しなくてもマイナンバーカードを用いて子育て・介護関係の手続きが電子的にできるよう機器を更改するもの。
- ・光熱費等助成金 420万円
- ・原油価格や物価高騰による生活困窮世帯への影響を緩和するため、電気・ガスなどの光熱費等を支援する助成金。1世帯当たり7000円で600世帯を見込んでいます。
- ・地域観光資源を活用した看板商品創出事業業務委託料 880万円
- ・ダリアを活用した体験型コンテンツによる観光客のリピートにつながる看板商品の創出を図る。ダリア園と併せて国内最大級の摘み取り園の誘客、ダリアの折り紙開発、新たなダリア染め開発、ダリアの色素を活用した天然着色料の開発をする。
- ・湯遊ランドはなわ観光施設整備交付金 2510万円
- ・建物全館の床カーペット張り替え、オートキャンプ場のトイレ洋式化、施設内あずまや改修費用。
- ・学童クラブ見守り用カメラ購入費 24万円
- ・学童クラブを利用している児童の見守りのためのカメラ購入。1195万円
- ・子ども第三の居場所施設工事 1195万円
- ・施設建設費と建設に伴う既設構造物撤去工事の費用。また、コロナや社会情勢に伴う建設資材や機械設備等の高騰や県条例にならった施設設計により、出入り口のスロープ・手すり・多目的トイレ・点字ブロックの設置を行う。

教育

町立図書館の利用状況は向上してきている

Q 図書館の利用状況は向上しているか。

A 令和3年度は約2万8千人の入館者数であり、コロナ前の入館者数に近づいてきて

いる。貸出冊数・貸出券利用者カードの登録者数も増えてきており、利用状況は向上してきている。

ICT支援員は何名か

1名が小中学校を日替わりで巡回している

Q ICT支援員の配置は、どのような方で何名で指導しているのか。

A GIGAスクールサポーターを兼務して

おり、株式会社夢デザイン総合研究所(相馬市)へ委託している。支援員1名が小中学校を日替わりで巡回し業務を行っている。

こども園駐車場の増設は来年度使用可能になる予定

Q こども園駐車場増設だが、工事見通しと駐車可能台数は。

A 順調にいけば今年度中に整備し、来年度使用可能になる。34台駐車が可能になる。

特別会計

国民健康保険特別会計

ジェネリック医薬品の利用率は横ばい

Q ジェネリック通知を6回実施しているが、ジェネリック医薬品の利用率の推移は。

A 国保被保険者のジェネリック医薬品の利用率は、金額ベースで「令和3年度は56%」「令和2年度は56.3%」「令和元年度は56.6%」であり、ほぼ横ばいである。



公共下水道事業特別会計

受益者負担金の滞納額は853万円

Q 公共下水道受益者負担金の滞納額について、なぜ解消が進まないのか。

A 現在24件で853万円の滞納がある。24件については徴収猶予中であり、そのうち6件は分納誓約をしており、猶予中の状況を確認しながら納付の交渉をしている。

令和3年度の事業実績【3】

浄化センターオゾン設備修繕整備 4499万円



こども園木製遊具設置工事 528万円



新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 629万円



質疑（条例）

Q 高齢者等共同住宅設置条例の一部改正について、2事業を追加したが、その理由は。また、要望・問い合わせがあつての改正なのか。

A この住宅は、山間地域の高齢者の冬期間利用、それ以外の期間は移住・定住関連事業にも活用できるように条例を制定している。今回、冬期間以外の利用を向上するため、主に精神障がい者の利用とDV等避難者の利用を想定している。どちらも、要望や問い合わせがあつたことから追加した。

質疑（補正予算）

Q 各課において、原油高騰による光熱水費等の補正が出されているが、どのように算出しているか。

A 各課の平均的な金額で算出している。

Q 木工用簡易レーザー加工機購入の内容は。

A 「木のまちはなわ」をPRする木製品に、文字・イラストなどを焼き付けるものである。ウッドスタートで贈呈している「花のつみき」や、木工教室でつくっているおもちゃ箱やイスなどに「ダリちゃん」などを印字しPR効果を狙う。

Q アルコール検知器購入の内容は。

A 警察署に確認したところ、安全運転管理者を設置している全ての事業者は、設置しなければならぬため購入する。システムを導入し、運転前の写真を撮影・登録しておく。息を吹きかけアルコール検知を行うことで、顔と時間と呼吸の濃度を記録しておく。

Q 学童クラブ見守り用カメラ購入の内容は。

A 今回設置するのは、学童クラブにおける子どもたちの動向について、支援員の数に足りていない実態もあり、支援員の見えていないところでトラブルが発生している。画像で確認し対応するために、音声も流すこともできるので、何かあればスピーカーを通して子どもたちに指導できる。

Q 羽黒山森林整備計画策定業務委託の内容は。

A 町の中心部から見える未整備山林を、森林環境贈与税を財源に整備するもの。想定している箇所は塙字沼ノ上土地内で、駅の東側8・56畝。

議員発議

「衆議院議員小選挙区における地域の実情を踏まえた区割りの改定を求める意見書」の提出

衆議院議員選挙区画定審議会は、「1票の格差」を是正するため、小選挙区の10増10減を含む、25都道府県140選挙区の新たな区割り案を岸田総理大臣に報告した。

福島県は、現行の5選挙区から4選挙区に「1減」されるとともに、大規模な再編となり、東白川郡は会津地方を中心とした福島4区へと統合され、新たに福島3区となる見直し案が打ち出された。

衆議院議員の小選挙区の見直しにおいては、「1票の格差」是正の観点のみならず、各地域の実情を反映した区割りとする。また、国においては中選挙区制復活も視野に入れた、選挙制度の抜本的改革を改めて検討されるよう強く要望する意見書。（提出先は、衆参両議長、内閣総理大臣、総務大臣）

意見書・・・地方議会の意見を国の施策に反映させるために、政府や国会に提出する文書のこと。地方自治法第99条で定められており、本会議に諮って提出する。

議案等の審議結果一覧表

原案可決	議案第34号	議案第35号	議案第36号	議案第37号	議案第38号	議案第39号	議案第40号	議案第41号	議案第42号	
	埴町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除および不均一課税に関する条例の一部改正	埴町高齢者等共同住宅設置条例の一部改正	埴町上水道事業の設置等に関する条例の一部改正	令和4年度埴町一般会計補正予算（第3号）	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	令和4年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	令和4年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	令和4年度埴町介護保険特別会計補正予算（第2号）	工事請負契約の締結	
	地域再生法の省令の一部改正に伴い、埴町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除および不均一課税に関する条例の課税免除期限等を改正する必要が生じたため。	標記住宅を有効に利活用するため、対象事業を2件追加するもの。①障がい者の社会復帰および自立に向けた支援事業②DV等避難者またはそのおそれがある者の一時滞在事業	下水道事業（公共下水道および農業集落排水事業）に地方公営企業法を適用するため、所要の改正を行うとともに、条例の整備をするもの。	歳入歳出それぞれ1億9777万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ75億9669万円とする。主な内容は、総務費、民生費、今年4月の人事異動による人件費に係るものなど。	歳入歳出それぞれ3083万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億6233万円とする。主な内容は、総務費、保健事業費など。	歳入歳出それぞれ1万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ2億3705万円とする。主な内容は総務費。	歳入歳出それぞれ710万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ2億6785万円とする。主な内容は、総務費、事業費など。	歳入歳出それぞれ830万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億986万円とする。主な内容は、総務費、保険給付費など。	道の駅はなわ空調設備改修工事を指名競争入札により契約するもので、契約金は5995万円。契約の相手方は、藤田建設工業株式会社（棚倉町）代表取締役 内藤勇雄。	
認定	認定第1～7号	報告第4号	報告第5号	同意第2号	諮問第1号	発議第2号				
	令和3年度決算の認定	健全化判断比率	資金不足比率	教育長の任命	人権擁護委員候補者の推薦	衆議院議員小選挙区における地域の実情を踏まえた区割りの改定を求める意見書				
	令和3年度の一般会計・特別会計および事業会計の歳入歳出決算。本定例会に上程された決算は、予算決算常任委員会に付託され、集中審議の結果、全件とも全会一致で認定。	地方財政の健全化を判断する指標として、前年度の決算額を参考に算出されたもので、基準よりも低くなった。	地方財政の健全化を判断する指標として、農業集落排水、公共下水道、上水道の各会計における資金不足を判断するもので、全てにおいて資金不足は発生していない。	秦公男教育長が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、同氏を再任することについて議会の同意を得るもの。任期は令和4年10月1日から令和7年9月30日までで、通算3期目となる。	西郷敏次氏（伊香）を人権擁護委員に推薦し、議会の意見を求めるもの。任期は1期3年であり、令和5年1月1日から令和7年12月31日までで法務大臣から委嘱される。	議員発議による意見書。衆議院議員小選挙区の見直しにおいて、各地域の実情を反映した区割りとすること。また、中選挙区制復活も視野に入れた、選挙制度の抜本的改革を検討するよう求める意見書。				



吉田克則委員長による決算の審査結果報告

健全化判断比率

4つの健全化判断比率で見る埴町の数値	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (赤字額なし)	— (赤字額なし)	15%	20%
一般会計の赤字の程度を指標化したもの				
連結実質赤字比率	— (赤字額なし)	— (赤字額なし)	20%	30%
全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの				
実質公債費比率	9.3%	8.9%	25%	35%
一般会計が負担する公債費（借入金返済額）およびこれに準じる額の大きさを指標化したもの				
将来負担比率	12.3%	21.8%	350%	—
一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの				

資金不足比率

各事業別の資金不足比率	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準
農業集落排水	資金不足なし	資金不足なし	20%
公共下水道	資金不足なし	資金不足なし	20%
上水道	資金不足なし	資金不足なし	20%

健全化判断・資金不足比率の報告

令和3年度決算から算出された財政健全化判断比率の全指標は、いずれも早期健全化基準を下回り、各事業会計（農業集落排水、公共下水道、上水道）の資金不足比率も経営健全化基準を下回っており、埴町財政は健全と判断される。

なお、国が定める基準を上回ると、財政再生計画の策定や国等の関与による確実な財政再生に取り組むことになる。

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成していただきます。

スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。



一般質問



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

P 1 5

- 農業収入保険制度の助成
- ペットの避妊手術の助成
- 公園整備の必要性

P 1 6

- 子ども第三の居場所周辺整備
- 除雪機購入補助金事業
- 町営グラウンド緑化整備



ななみや ひろき
七宮 広樹議員

P 1 7

- デマンド交通の進捗状況
- 風力発電所計画
- 水郡線の存廃議論



しもじゅう よしと
下重 義人議員

P 1 8

- 役場新庁舎設計変更の内容
- 物価高・資材高騰の支援
- 町施策・施設の利活用



よしだ かつのり
吉田 克則議員

P 1 9

- DXの取り組み内容
- 公約の介護施設



あおと ようぞう
青砥 與藏議員



町政を問う

質問 農業収入保険制度の助成制度を設ける考えがあるか

答弁 検討したく、担当課に指示する

質問 農業担い手の育成について、町の支援策を伺う。
答弁 現在、町独自の支援策はない。県南地域新規就農者等担い手の確保育成連携協議会の構成員となっており、町独自の青年等就業資金などの支援制度の創設につなげたい。

答弁 町の基盤産業となっている農業の経営安定化の重要性を鑑み、青色申告が前提の制度だが、町として制度の周知を進めるとともに、助成制度の導入を検討したく、担当課に指示する。



ペットの避妊手術の助成制度を設ける考えがあるか

町としての助成制度の創設を検討したい

質問 保護猫等の対応はどのようになっているか伺う。
答弁 保護猫等の、動物愛護管理業務は三春町の福島県動物愛護センターで一括管理されているので、案内する対応をとっている。

質問 町にペット避妊手術の助成制度はあるか、また設ける考えがあるか伺う。
答弁 現在、町の助成制度はない。福島県獣医師会が譲渡を受けた保護犬・猫に限り一部助成をしている。また、本年に限り、日本動物

福祉協会の犬猫不妊・去勢手術推進キャンペーンがありこちらは町民に周知を行う。町内でも、飼い主のいない動物に餌付けして犬猫が繁殖し問題となっている地区もあり、助成制度創設を検討したい。



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

複合的な利活用

公園整備の必要性をどう考えるか

有用性・必要性・費用対効果を検討し方針を決めたい

質問 健康増進施設の湯遊ランドに全年齢層が楽しめるアスレチック遊具を備えた公園整備ができれば、自転車・温泉・遊具で遊ぶなど一家全員が楽しめる施設となるが、町の考えを伺う。
答弁 コロナ禍前、森の幼稚園の提案を受けていた。現在とん挫状態であるが、全年齢層が楽しめる施設という観点も含め、公園整備の有用性、必要性、費用対効果を検討し方針

を決めたい。
自然を利用し、自転車・キャンプ・アウトドア・温泉あらゆる年齢層のニーズに配慮される施設になるということ、町にとっても好ましいこと。
質問 アスレチック設備等の活用にインストラクターを配置すること、より価値が高まると思うが町の考えを伺う。
答弁 公園整備の方向性によっては、生涯学習・生涯スポーツの観

点から人材育成が必要と考えている。モンベルフレンドエリアの一つに認定されていることから、協力を得ながら、インストラクターの養成を検討したい。
質問 森林再生事業で作られた作業道の活用の可能性について伺う。
答弁 町有林等、マウンテンバイクコースに適しているであろう候補地の実地調査を行う予定。入念に調査し、慎重に進めていく。



ななみや ひろき 七宮 広樹議員

先入観は是である。

子ども第三の居場所 周辺一帯の整備を

質問

答弁

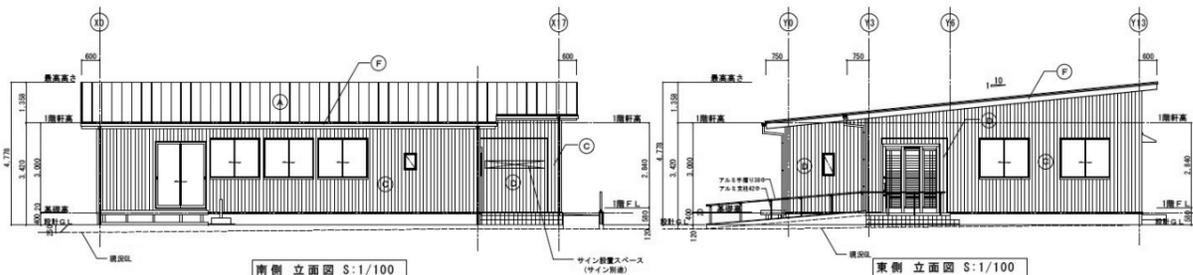
構想は持っている

質問 接続する町道「塙・登記所線」は狭く、交通量も多い道路だが、事故等を防ぐために、拡幅工事や待機所の設置、またカラー舗装などの考えは。

答弁 現時点では、道路拡幅等の計画はない。

質問 将来、塙が周辺の空き家・空き地を求め、一帯の環境を整え、多目的広場や児童公園などの整備を進めていく考えは。

答弁 将来的に土地を求め、周辺一帯を魅力的な公共空間にしたいという構想は持っている。



子ども第三の居場所建物の計画図

除雪機購入補助金事業に変わる取り組みを

十分に検討し、考えていく

質問 除雪機購入補助事業は一定の役割をおさめた今、新たな取り組みとして、荒れ果てる地域の景観を保全するために、乗用草刈機や伐採後の木を砕く粉砕機に移行し、作業軽減を図る取り組みが必要だと思うが。

答弁 各地域が抱える課題を把握し、住民が主体となって解決できる仕組みを検討していく。

町営野球場・運動場グラウンドの緑化整備は 現段階では、芝生化は想定していない

質問 塙町で唯一の野球場や、町内一大きな運動場のグラウンドコンディショニングの向上と、環境と景観を整える考えは。

答弁 現在のところは特に計画等はない、また要望等もない。

質問 近年、野球場や運動場のグラウンドの緑化整備が進められ、土ほこりの防止と減少、利用者のけがの防止、温暖化対策など充実が図られ、住民から愛され誇れる施設を目指す考えは。

答弁 現段階では芝生化は想定していないが、要望等があれば今後検討していきたい。

その他の質問

「地域公共交通活性化協議会について」と「後世に誇れる森林活用について」は、議会ホームページの議会議中継からご覧ください。

質問

小規模需要対応交通の進捗状況は

しんちやく

導入に向けた調査を11月から3カ月間実施予定

質問 交通空白地域の対処法として、小規模需要対応交通（デマンド交通）の実証運行の進捗状況は。

答弁 運行ルートもバス停もない利用者の指定場所を巡る実証運行について、導入に向けた調査および運行計画案を協議・検討を重ねているところである。公共交通空白地帯につ

いては、通院や買い物など日常生活の移動手段として既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合には、地域の関係者や塙町地域公共交通活性化協議会による協議を経た上で、道路輸送法の登録（町・NPO法人等）を受け、必要な安全上の措置が講じられた「家用有償旅客運送」を活用して対応していくこととなる。また、実証運行は令和4年11月から3カ月間の実施予定。

質問 民間事業者などに委ねる考えは。

答弁 旅客自動車運送事業を営むことができ、民間事業者が持つ先端技術やアイデアが活用されることで、地域住民や利用者の利便性の向上につながると思われるため、今後の活用に向けて検討していきたいと考える。



しもじゅう よしと 下重 義人議員

たまには水郡線で出かけてみませんか・・・

令和5年着工予定の風力発電計画は 2カ月延びて令和5年11月工事着工予定



デマンドタクシー（イメージ）

質問 風力発電設備が自衛隊の警戒管制レーダーに支障になると思われることから、今後の計画への影響は。

答弁 塙町と常陸太田市にまたがる風力発電設備は、防衛省の指定窓口に問い合わせた結果「影響なし」の評価の回答であった。また、工事着工は2カ月間延びて令和5年11月着工予定である。

水郡線の大子・塙間の存廃議論の行方は

「水郡線活性化協議会」などで対応

質問 JR東日本では、地方路線の厳しい経営状況を各自治体に理解をいただき議論するために公開したが、今後の町の考えは。

答弁 水郡線の必要性を前提において、利益につながる各イベントの開催、そして県内水郡線沿線の市町村で構成される「水郡線活性化協議会」での協議検討を進め、対応していきたいと考える。



地域の重要な足である「水郡線」



よしだ かつのり 議員

役場新庁舎設計変更内容は

指示し工事費の縮減を図る

質問

答弁

質問 町役場新庁舎建設設計変更に係る町民への説明責任は。

答弁 変更経緯は、建設資材高騰があるものの庁舎建設基本計画で示した目標に徹底した精査圧縮を図るとともに、資材については建設後の維持管理をできる限り軽減するため、汎用品の利用を指示し工事費の縮減を図る。コロナ禍の厳しい状況であり、説明会開催は難しい。広報誌、ホームページ等でお知らせしていく。

質問 何社の入札参加申し込みがあったのか。

答弁 入札参加要件は、単体企業・共同企業体でも入札参加できる。入札参加申し込みは単体で3業者である。

質問 設計変更したことで、町民にとっての行政サービス面や利便性はどのようになっているのか。

答弁 階高、屋根形状の変更が主なもので、来庁者の利便性、行政サービスの低下等無いように解している。

質問 新庁舎は何年先を見通した計画なのか。

答弁 めどとして50年、人口6000人を維持目標としたい。

一般質問

町施策、施設の活用は

取得支援・貸付・作業提案

質問 マイナンバーカードの取得支援は。

答弁 8月末現在の交付率30・6%。本人申請が基本。郵送、オンラインによる申請がある。役場で申請のお手伝いをしていく。

質問 旧常豊小学校跡地の活用状況は。

答弁 株式会社フラワーキングに校舎の一部を有償にて貸し付けている。8月からふるさと産業おこし連絡協議会に新規貸付している。民間会社から事務所として校舎の一部を借用したい旨の問い合わせがある。

質問 町有化した旧すみれ会館の状況は。

答弁 4月から会計年度任用職員2名体制で、週2日片付け作業を行っている。

物価高・資材高騰の支援は 交付補助事業を予算計上

質問 町民の暮らしや生活を守る観点から、物価高や資材高騰に対する町の支援は。

答弁 エール商品券交付事業、県の補助事業を活用して物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業を予算計上している。農業生産資材高騰についても、何らかの対策が必要と感じている。



町民へ生活・経済支援としての「町民エール商品券」交付事業

質問 町高齢者等共同住宅の利用状況は。

答弁 利用者は今のところいない。この施設を有効活用するため今定例会で設置条例の一部を改正する提案をした。

質問 コミュニティ助成事業について。

答弁 一般コミュニティ助成事業は、事業費100〜250万円程度で全額助成となる事業。コミュニティ助成事業は、対象事業費の5分の3が助成（上限額1500万円）となる事業である。

質問

埴町のDXの取り組み内容は

答弁

今年度中に基本計画を策定する

質問 IT（インフォメーションテクノロジー）化が進む中で、さまざまな業種や分野でDXへの取り組みが注目されている。2021年9月、デジタル庁が発足した。埴町が考えるDXの進め方・対策を伺う。

答弁 近年、スマートフォンのネットワーク・人工知能などデジタル技術が進んでいる。また、コロナ禍の大きな影響の中、社会生活では大きな変化が起きた。人と人のつながりを大切にして、対面とデジタル化の最適化を図るため総務省では「DX推進計画」を設置。福島県では「デジタル

変革基本方針」を策定、埴町では今年8月に情報化推進会議をスタートした。国、県の方針を受け、町独自の基本方針を今年度中に策定する。

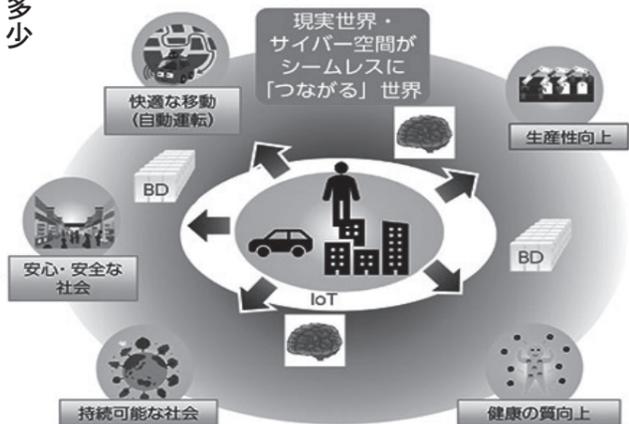
質問 新たな事業には多少の問題が起こる。指摘を怖がれば、事業は進まない。町長の決意をお聞きます。

答弁 国の考えを注視して、出遅れることのないよう対応する。現段階での方向性をお話しすると、3つの軸がある。

- ①住民サービスの向上と地域活性化のためのデジタル化（行政サービスのデジタル化↓子育て申請手続きのオンライン化など）
- ②情報発信の充実（ホームページの利便性↓

DX

DIGITAL TRANSFORMATION



- ③安心安全のためのデジタル化（防災情報の多重化↓携帯への連絡網↓セキュリティソフトなど）
- SNS利活用・モバイル環境・スマート農業など

公約の介護施設はいつスタートするのか 軽費老人ホーム建設の思いは変わっていない

質問 選挙公約で、国民年金で入所できる介護施設をつくと約束した。町長在任6年になるが、本事業がいつ始まるのか伺う。

答弁 経常収支比率の改善、こども園建設、若者定住促進住宅建設、台風19号被害対策、コロナ対策など優先順位の変更により遅れているが、計画への思いは変わっていない。



あおと ようぞう 議員

段取り八分 仕事二分

一般質問

所管事務調査レポート

総務常任委員会

町の財政状況

- ・調査日 令和4年7月15日(金)
- ・場所 委員会室
- ・出席委員 下重義人委員長
ほか委員全員
(計7人)



調査のまとめ

東北財務局福島事務所による「埴町の財政状況分析」の説明を受ける。4項目の財務指標をもとに、令和2年度決算については「留意すべき状況にない」ということであるが、類似町村と比較するとやや悪い状況である。自主財源に乏しく、地方交付税への依存度が高い。中学校、防災センター、給食センター、こども園などの大型事業により地方債残高は増加している。また、上下水道事業への操出金3億5000万円は町財政への負担が大きい。

今後、役場庁舎建設後は大きな建設事業の予定はないとしているが、既存の公共施設等の修繕、維持管理への支出の増加が見込まれ、施設等の統廃合も含め、効率化が必要と思われる。また、段階的な水道料金改定は喫緊の課題と思われる。

調査のまとめ

令和5年4月1日の地方公営企業法適用に向け、現在、減価償却資産の拾い出し作業を進めている。町では、上下水道事業会計がすでに公営企業会計に移行しており、移行時の資産簿価等の精査が完了すれば、スムーズに移行が可能との印象を受けた。

今後の予定として、9月に設置条例を上程、12月にその他の関連する条例の上程、3月に関連する規則を制定する計画で進めるとしている。なお、公営企業会計に移行するための業務委託料は2200万円である。

今後の課題として、支払の処理、収入の処理により、人的不足になるかもしれない。また、利用料の高騰を招かない経営改善の取り組みに注視していきたい。

経済常任委員会

農業集落排水処理事業および公共下水道事業の公営企業会計への進捗状況



- ・調査日 令和4年7月29日(金)
- ・場所 委員会室
- ・出席委員 七宮広樹委員長
ほか委員全員
(計6人)

追跡レポート

あの質問はどうなったのか?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

ネオニコチノイド系農薬の規制強化は (令和3年12月定例会)

最近、生態系に及ぼす影響として問題になっている。水溶性で植物の中に残留すると人の脳への影響が懸念され、子どもたちの発達障害、自閉症、多動症に影響していると言われているが規制対策は。

答弁

対象農薬を2事業者が使っていた

カメムシ防除補助事業で、ネオニコ系農薬規制をしていなかった。5事業者のうち来年から規制をする方向で検討したい。

その後

令和4年度から規制した方向で実施 (令和4年6月定例会)

ミツバチ被害の問題、生態系および人体への影響で自閉症や注意欠如多動性(ADHD)の増加があると言われ、文科省は、小中学生の6.5%が発達障害の可能性があり、関係性があると確認をしている。人間の脳への影響も懸念されているので、行政として安全な農産物を供給する大義がある。代議士や県の関係機関に働き掛けたい。



駅前周辺の町道が危険な状態なので対応は (令和2年9月定例会)

栄町から駅前を通り、こども園への町道が危険な状態にあるので、交通規制や看板等が必要なのは。

答弁

安全対策を検討する

路側線や路側に破線を引き注意喚起を行い、駅前周辺も警察署やJRと協議し、安全対策を検討する。

その後

安全性を確保した (令和3年12月定例会)

路側線や破線、さらに停止線も引かれた。町道もカラー舗装となり、安全性が確保された。



議会だより モニターさんの声

① 表紙・裏表紙

- ・「目指せ！よい歯でステキな笑顔」のタイトルは良いと思う。
- ・埜町には、いろいろな取り組みをしている団体がこんなにもあることに驚いています。竹パウダーが、農産物にどのような影響があるのか知りたいと思った。

② 2～5ページ（6月定例会の内容）

- ・エール商品券はとてもありがたいし、町としての経済循環になっていると思う。
- ・湯遊ランドの天文台は、まだ体験していないのでぜひ行ってみたいと思うが、せっかくなのでもう少しアピールできたら良いのではないかな。
- ・「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書」の提出の項目で、「インボイス制度」や「簡易課税制度」などは補足説明がほしかった。

③ 6～17ページ（一般質問）

- ・今回は11人という多くの議員が1ページという狭いスペースで、思いのたけを述べていて、議員の意気込みが伝わってきた。
- ・子ども第三の居場所事業について、町民に対しても事業内容を説明すべきではないか。
- ・こども園や学校教育課に保健師が配置されたことは、教職員の負担軽減にもなりいいことだと思う。

前回7月15日発行の議会だより第159号に対する議会だよりモニターの声に掲載します。

- ・議会で質問した内容を、もっと細かい内容まで紙面に盛り込んでほしい。議会での発言内容については、町民は紙面を見て各議員の発言内容を知る。その情報によって議員が町民へ訴えたいこと、考え方、人柄を主張できる重要なツールとして、この「議会だより」が存在していると思う。

④ 19ページ（新庁舎計画—これまでの経緯）

- ・モニターや町民からの声に対して、新庁舎計画の経緯が分かりやすくまとめられている。町民からの期待のイメージも膨らむと思う。
- ・新庁舎の経緯は皆さんもう一度確認したいところだったと思うので、まとめられていて良かった。事業費について、削減もある程度は必要だと思うが、今後数十年に渡って使っていく施設なので、費用をかけてでもしっかりした埜町を象徴できるような施設を作してほしい。

⑤ その他

- ・町村議会広報研修会で学んだ内容を紙面に生かして、これからもより良い紙面づくりをお願いしたい。

今後の議会スケジュール



■ 令和4年10月21日（金）
総務常任委員会所管事務調査

■ 令和4年10月24日（月）
町村議会議員研修会（郡山市）

■ 令和4年10月28日（金）
経済常任委員会所管事務調査

■ 令和4年11月8日（火）～10日（木）
議会運営委員会および広報常任委員会合同行政視察研修（愛知県安城市、静岡県方面）

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



くらかた いさおさん
倉片 功さん
(湯岐)



すずき あやのさん
鈴木 彩乃さん
(台宿)

議員の町民に対する思いが伝わってくる

私にとって重要なインプットツール

「町民と議会をつなぐコミュニケーション誌」の言葉が議会だよりの表紙に記載されており、まさにこの言葉がぴったりの情報誌です。私はこれまで議会だよりを手にする程度でしたが、今回モニターをお受けし、町民の情報が伝わり、町と議会とのやりとりや動向がよく分かります。各議員の町民に対する思いがひしひしと伝わってきました。そして、機会があればぜひ生の議会を傍聴したいと思っています。これからも町の情報誌として、町民に分かりやすい議会だよりの発行をお願いいたします。

議会だよりモニターも2年目に入りました。この1年間で町政に対する関心がぐんと高まり、埜町への愛着も増したように思います。さらに、さまざまな問題提起とともにそれに対する町の政策も詳しく知ることができています。

現在私は、子育てや教育の話題に注目をしていますが、議会だよりを通して埜町ではさまざまな支援策を実施していることを知りました。町全体で子どもたちを豊かに育てたいという、私自身積極的に考えて暮らしていきたいと感じています。

議会活動出欠状況

令和4年7月1日 ～ 令和4年9月30日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
4.7.7	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.7.14	全員協議会（埜町役場新庁舎建設事業）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.7.15	総務常任委員会（所管事務調査）	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
4.7.22	議会運営委員会（7月臨時会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
4.7.22	7月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.7.22	全員協議会（町内のコロナ感染状況）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.7.29	経済常任委員会（所管事務調査）	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
4.8.31	議会運営委員会（9月定例会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
4.9.2	全員協議会（公共下水道事業及び農業集落排水事業の地方公営企業法の適用移行についての説明 ほか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.8	9月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.9	9月定例会（2日目：議案説明、委員会付託）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.12	9月定例会（3日目：一般質問5名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.12	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
4.9.12	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○
4.9.12	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4.9.13	予算決算常任委員会（令和3年度決算審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.14	議会運営委員会（追加議案）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
4.9.14	全員協議会（追加議案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.14	予算決算常任委員会（令和3年度決算審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.14	9月定例会（最終日：議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.9.14	議会運営委員会（議会の検証）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：埴町シルバー人材センター
 所 在：埴町材木町 32 番地
 事 務 所：TEL・FAX：0247-43-2153

生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に貢献する

「元気だから働くのではなく、働くから元気になる」埴町シルバー人材センターに伺い一番はじめに言われた言葉です。

地域の日常生活に密着した就業機会を提供することで、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費および介護費用の削減などに貢献するため、平成2年に設立され、現在45名の会員が登録・活躍しています。なお、会員は原則60歳以上の方となっています。

主な事業は、草刈作業、援農作業、庭の手入れ、定期清掃等の施設管理の他、企業への派遣なども行っています。また、地域貢献活動として、毎年シルバーの日（10月15日）に町有施設の草刈り整備等のボランティア活

動を行っています。

同センターでは、「一人でも多くの方に元気になってもらうため、一緒に活動できる人を増やしたい」と話していました。最近元気がないなと思っている方、もっと元気に過ごしたい方は、事務所へご連絡ください。



元気に活動しています

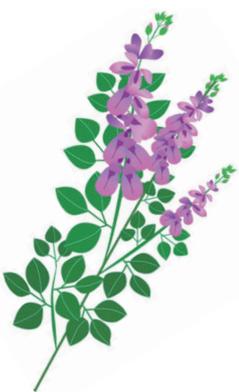
編集後記

9月定例会は令和3年度の決算審査でした。審査の結果を来年度の予算審議に生かしていきたいと思えます。

前号の第159号に役場新庁舎計画のこれまでの議会関連の経緯を掲載しましたが、モニターさんからはじめ多くの町民の方から今までの内容が分かったとの声を議会だよりにいただきました。

今後も、議会での内容を分かりやすくお伝えしていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。

菊地 哲也



- | | | | | | |
|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 金澤 | 鈴木 | 吉村 | 吉田 | 菊地 | 青砥 |
| 太郎 | 元久 | 守広 | 広明 | 哲也 | 興藏 |

広報常任委員会

あなたも議会を傍聴してみませんか

令和4年12月定例会は12月8日(木)からの予定です

場所 役場2階 議場
傍聴時は感染症予防の観点からマスク着用をお願いします



10月臨時会(10月12日開催)の内容は、次号に掲載します。